令和元年度事業実績

《 総　括 》

本財団は、市民の芸術文化活動の振興に関する事業を行うと共に、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保護等を行い、文化の薫るまちづくりと市民の豊かな芸術文化の創造に寄与することを目的としている。

令和元年度も、引き続き北九州市より指定管理者の指定（期間：平成３１年４月１日から令和６年３月３１日）を受け、北九州市の文化拠点「北九州芸術劇場」、全国的にも優れた音響効果を誇る音楽専用ホール「響ホール」、市民の芸術文化活動支援施設「大手町練習場」の３つの芸術文化施設等の管理運営を行っている。また、これらの施設を活用し市民が優れた芸術文化に接する機会や市民の文化活動の場を提供する等、市域の芸術文化活動の振興に取り組んでいる。

まず、舞台芸術の振興では、「北九州芸術劇場」を中心に「創る」「育つ」「観る」「支える」をコンセプトに、オリジナルの舞台芸術作品の製作・上演による全国への発信、舞台芸術の手法を使った人材育成や教育普及事業の実施、芸術性あふれる優れた公演を市民に幅広く提供するなど多様な事業を行った。

令和元年度は、北九州芸術劇場ダンスクリエーション「ギミックス」、北九州芸術劇場クリエイション・シリーズ「まつわる紐、ほどけば風」の２作品のほか、市民参加企画である合唱物語「わたしの青い鳥２０１９」、北九州芸術劇場＋市民共同創作リーディング「Ｒｅ：北九州の記憶」など創造事業４件、地域で活動する多様な領域の団体・機関などとの協働事業「ひとまち＋アーツ協働事業」、大学生をターゲットとした「大学演劇ラボ」等の学芸事業９件、パルコ・プロデュース「世界は一人」や新国立劇場２０１８／２０１９シーズンダンス　森山開次「ＮＩＮＪＡ」、財団主催事業としてＮＯＤＡ・ＭＡＰ第２３回公演「『Ｑ』：Ａ　Ｎｉｇｈｔ　Ａｔ　Ｔｈｅ　Ｋａｂｕｋｉ」等公演事業１５件、関係団体との提携で様々なジャンルを公演する共催・提携・協力事業１４件を実施した。（事業計画では１５件であったがうち１件は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止）

次に、音楽文化の振興では「響ホール」を中心に「創る」「育つ」「聴く」「支える」「つながる」をコンセプトとし、音楽専用ホールとしての特性を生かした質の高い音楽鑑賞の機会の提供、音楽の手法を用いた人材育成・教育普及事業の実施及び地域の音楽文化の担い手の育成・継承、オリジナルコンサートの制作・公演を行うなど多様な事業を行った。

令和元年度は、「響ホールリサイタルシリーズ」と銘打ったコンサートや市民センター・小学校等を訪問する地域訪問コンサート、ワンコイン・コンサートを実施し、響ホールの認知度向上を図るとともに新たな観客層へのアプローチを行った。育成事業としては、情操豊かな子どもたちの育成のための「北九州市少年少女合唱団」と「北九州市ジュニアオーケストラ」の運営等を行った。

２０１９北九州国際音楽祭は、東アジア文化都市のプレ事業と位置づけ、「エモーショナル ―東アジアへのめざめ―」をキャッチフレーズに、アジアをルーツとする演奏家や邦楽の公演などを織り交ぜ、世界トップレベルのアーティストによる多彩なラインナップで開催した。

また、情報提供事業としては、芸術文化情報センターの運営や文化情報誌「CulCul・かるかる」、公演情報誌「情報誌Ｑ」を刊行し、市内の芸術文化活動の周知及び公演情報の提供を行った。

その他、埋蔵文化財に関する発掘調査及び保存、調査研究や報告書刊行の事業と埋蔵文化財センターの維持管理等を北九州市などから受託しており、令和元年度の発掘調査等については、発掘８件・整理１３件、合計２１件の事業を実施した。

《 Ⅰ 文化創造事業の実施 》

1 舞台芸術の振興

（1）創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を制作し、公演を実施した。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数(人)
北九州芸術劇場プロデュース／市民参加企画 合唱物語 「わたしの青い鳥２０１９」	[コーラス・ワークショップ] 北九州芸術劇場小劇場 ほか ５月１０日（金） ～６月２３日（日） 全１５回 [アウトリーチ] 総合福祉施設おきなの杜 （北九州市小倉南区） ５月２４日（金） １回 [公演] 北九州芸術劇場中劇場 ６月２３日（日） １公演	市民参加型創造事業。メーテルリンクの「青い鳥」を原作にオリジナルの曲と詞を作り、市民参加の合唱と朗読で物語をすすめていく。本番を含む１５回のワークショップを実施し、作品には参加者の自分史や幸福感を取り込み、さらに公演では来場者にも幸福感をインタビューし、会場一体となって幸せ探しをする。平成１６年度から毎年続いて１６回目の開催。 【合唱】市民の皆さん 【作曲】長生淳 【作詞・ナレーション】能祖將夫 【指揮】樋本英一 【ソプラノ】伊藤晴（藤原歌劇団） 【ピアノ】白石光隆	[コーラス・ワークショップ] 88 [アウトリーチ] 140 [公演] 390
北九州芸術劇場ダンスクリエーション 「ギミックス」	[ワークショップ（出演者）] 北九州芸術劇場 創造工房 ４月１２日（金） ～１４日（日） [ワークショップ（一般）] 北九州芸術劇場 創造工房 ４月１４日（日） ながす未来館（熊本） ８月３日（土） 大分市学習センター（大分） ８月１０日（土） メディキット県民文化センター（宮崎） ８月１２日（月・祝） [公演] 北九州芸術劇場小劇場 ９月１４日（土） ～１５日（日） ２公演 メディキット県民文化センター イベントホール（宮崎） ９月２１日（土） ～２２日（日） ２公演 ながす未来館（熊本） ９月２９日（日） １公演	平成２９年度の「ダンスダイブウィーク」において、若手振付家・ダンサー育成シリーズとして企画・製作した「ギミック」を、３０年度のワークショップ、リバーウォーク北九州内での一般公開を経て、令和元年度は新演出で上演した。また宮崎・熊本での九州ツアーを実施した。 【振付・演出】 井手茂太（イデビアン・クルー）	[ワークショップ(出演者)] 7 [ワークショップ(一般)] 北九州　20 熊　本　14 大　分　14 宮　崎　15 [公演] 北九州　208 宮　崎　112 熊　本　127

北九州芸術劇場＋市民共同創作リーディング「Ｒｅ：北九州の記憶」	［取材・調査］ 平成３１年１月～ 令和元年９月 （平成３０年度からの継続事業） ［戯曲講座］ 北九州芸術劇場 ４月～９月 全７回 ［リーディング公演］ 北九州芸術劇場小劇場 １０月１３日（日） ～１４日（月・祝） ２公演 ［学校鑑賞］ 北九州芸術劇場小劇場 １０月１５日（火） １公演 ［関連企画］ ①リーディング公演 市立八幡図書館 エントランスロビー ８月４日（日） ②連続５回戯曲講座「戯曲をよむ、記憶をよむ」 市立八幡図書館 １０月～２月 ※２月実施分は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ③リーディング公演 霧丘市民センター １月２３日（木） ④リーディング公演 引野市民センター １月２５日（土）	平成２４年度からはじまり８年目を迎える事業で、北九州地域に暮らす人の歴史（記憶）を「北九州の歴史」として振り返り、未来へ継承することを目的に実施している。元年度は前年度に実施した高齢者へのインタビューを元に地域の若手作家が戯曲を執筆、リーディング公演として上演。 また、市民センターや市立図書館と協力して、北九州にまつわる戯曲を広く市民へ紹介する関連企画を実施した。 【構成・演出】 内藤裕敬（南河内万歳一座） 【関連企画上演作品】 ①リーディング公演 「カンパン」 作・演出：寺田剛史（block） ②戯曲講座 これまでに執筆した戯曲８作品を題材として活用。 講師：守田慎之介（演劇関係いすと校舎） ③④リーディング公演 「春の夢みたい」 作・構成・演出：穴迫信一（ブルーエゴナク）	［戯曲講座］ 6 ［リーディング公演］ 213 ［学校鑑賞］ 76 ［関連企画］ ①26 ②57 ③56 ④48
北九州芸術劇場クリエイション・シリーズ「まつわる紐、ほどけば風」	［オーディション］ ８月１０日（土） ～１１日（日・祝） ［ワークショップ（出演者）］ ８月～１０月 全５回 ［公演］ 北九州芸術劇場小劇場 ２月２７日（木） ～３月１日（日） ５公演 ※2 月 27 日のみ上演。28 日以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止。	第一線で活躍する表現者をクリエイション・パートナーとして迎え平成３０年度より地域の人々や表現者との交流を開始。元年度は北九州に滞在してもらいワークショップや作品創造、上演を行った。 また、作品創造の取組みを広く周知し、作品への興味を喚起させるため、関連企画を実施した。 【作・演出】 岩崎正裕（劇団太陽族）	［ワークショップ（出演者）］ 12 ［北九州公演］ 2/27 のみ 92

	アイホール(伊丹市立演劇ホール) （兵庫県伊丹市） ３月７日（土） ～８日（日） ３公演 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止 ［関連企画］ ①北九州芸術劇場創造工房 ６月９日（日） ②cafe causa （北九州市小倉北区） ２月１１日（火・祝）	【関連企画上演作品】 ①北九州劇団代表者会議 リーディング・プロジェクト 「ここからは遠い国」 北九州リーディング ver. 作・演出：岩崎正裕（劇団太陽族） ②リーディング公演 「まるまる糸」 作・演出：守田慎之介（演劇関係いすと校舎） 「どけどけ虫」 作・演出：泊篤志（飛ぶ劇場）	［関連企画］ ①101 ② 71

（２）学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献した。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数(人)
キタＱ アーティストふれあいプログラム	【講師】守田慎之介 企救丘小学校 １１月６日（水） ～８日（金） 中尾小学校 １月２８日（火） １月３０日（木） 【講師】セレノグラフィカ 八幡西特別支援学校 １１月１８日（月） ～１９日（火） 志徳中学校特別支援学級 １１月２１日（木） ～２２日（金） 大谷小学校特別支援学級 １１月２６日（火） ～２７日（水） 【講師】有門正太郎 飛幡中学校 １２月２日（月） ～５日（木） 【講師】北尾亘 到津小学校 １２月１９日（木） ～２０日（金） 永犬丸小学校 ２月２５日（火） ～２８日（金）	第一線で活躍するアーティストによる市内の小・中・特別支援学校等でのアウトリーチ。未来を担う子どもたちがアーティストとふれあう機会を作ることで、想像力や表現力を育み、創造性や個性を伸ばす手助けとなることを目的に実施した。 【講師】 守田慎之介（劇作家、演出家、俳優） セレノグラフィカ（隅地茉歩、阿比留修一）（ダンスカンパニー） 有門正太郎（俳優、演出家） 北尾亘（振付家、ダンサー）	［守田慎之介アウトリーチ］ 164 ［セレノグラフィカアウトリーチ］ 36 ［有門正太郎アウトリーチ］ 122 ［北尾亘アウトリーチ］ 145

ひとまち＋アーツ 協働事業	【講師】有門正太郎、守田慎之介 北九州芸術劇場×北九州市子ども・若者応援センターYELL [観劇＆バックステージツアー] ①有門正太郎プレゼンツ 北九州芸術劇場小劇場 ５月１５日（水） ②演劇関係いすと校舎 自宅劇場守田ん家 （福岡県行橋市） ９月１５日（日） [演劇ワークショップ] コムシティ ユースステーション １０月～１月 全９回 [発表] １月２２日（水） 【講師】セレノグラフィカ [レインボードロップスワークショップ] ウェルとばた 北九州芸術劇場創造工房 ９月～２月 全１８回 [公演『こんなにも、家族』] 北九州芸術劇場小劇場 ２月　９日（日） ２月１１日（火・祝） ２公演	地域で活動する多様な領域の団体・機関などとの協働事業。子ども・若者応援センターＹＥＬＬでは、１年を通じてワークショップを重ね、参加者によるオリジナルの紙芝居を創作し、発表を行った。 また、障害のあるなしに関わらず一緒にダンスを楽しむプロジェクト「レインボードロップス」でもワークショップを重ね、小劇場での単独公演を２ステージ実施した。 【講師】 有門正太郎（俳優、演出家） 守田慎之介（劇作家、演出家、俳優） セレノグラフィカ（隅地茉歩、阿比留修一）（ダンスカンパニー）	YELL [観劇＆バックステージツアー] ①12 ②10 [ワークショップ] 延べ 96 [発表] 20 [レインボードロップスワークショップ] 27 [公演] 212
夏休み！子どもの劇場体験２０１９	北九州芸術劇場 小劇場、創造工房 [ワークショップ] ８月１４日（水） ～１８日（日） 全５回 ※8 月 15 日は台風のため中止 [発表] ８月１８日（日）	地元の若手演劇人や劇場スタッフを講師に、小学生を対象とした２つのワークショップを実施。最終日は、子どもたちの保護者・家族を招き、成果発表を行った。 ①職場体験コース ②演劇体験コース	[ワークショップ] ①15 ②15 [発表] 60
大学演劇ラボ	北九州芸術劇場創造工房 [ワークショップ] ９月１６日（月・祝） [戯曲講座] ９月～１２月 全７回 [俳優向けワークショップ] １０月～１２月 全３回 [テクニカル講座] １月 全３回 [稽古] ３月９日（月） ～１５日（日） 全７回	これまで実施してきたシアターラボ企画を令和元年度は大学生をターゲットとして、２０代の若手演劇人をはじめ、次世代の人材育成を目的に実施した。 【リーディング公演】 「４９８９」 作・演出：横佐古力彰 「ポタクとジョーとそれから　ニバン」 作・演出：溝越そら 「信号機前後運動問題 ～脳裏をかけめぐるエゾシカコンプレックス～」 作・演出：セクシーなかむら	[ワークショップ] 22 [戯曲講座] 30 [俳優向けワークショップ] 22 [テクニカル講座] 22 [稽古] 22

	［リーディング公演］ ３月１４日（土） ～１５日（日） ２公演 ※3 月 12 日以降の稽古及び公演は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	「地獄じゃない」 作・演出：若宮ハル	［公演］ 中止
劇場塾２０１９	①オープンレクチャー 北九州芸術劇場創造工房 １１月３０日（土） １回 ②地域の担い手育成クラス～ダンス編 北九州芸術劇場創造工房 １２月５日（木） ～６日（金） 全２回 ③舞台技術セミナー 北九州芸術劇場大ホール １２月１２日（木） １回 ④劇場基礎クラス 北九州芸術劇場創造工房 １２月１８日（水） １回	これからの地域文化の振興を担う人材の育成や人的ネットワークの形成を目的として、市民や公共ホール等で舞台芸術に携わるスタッフ等を対象に、専門家によるレクチャーを開催した。 ①オープンレクチャー 舞台の仕事シリーズ Vol.1 『翻訳家の仕事』 【講師】 岩切正一郎（国際基督教大学教授、戯曲翻訳家） ②地域の担い手育成クラス ～ダンス編「ダンスを届ける！」 【講師】 セレノグラフィカ（隅地茉歩、阿比留修一/ダンスカンパニー）、マニシア（ダンスアーティスト）、神前沙織（ＮＰＯ法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク チーフ・コーディネーター、プランナー） ③舞台技術セミナー 「ＩＴネットワークで劇場をつないでみた！何ができる？！」 【講師】 尾本章（九州大学芸術工学研究院教授）、長津結一郎（同助教） 【出演】 北九州市立高等学校ダンス部 N9SD CREW（ノースナインステイツダンスクルー）、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部 Big Friendly Jazz Orchestra、北海道札幌国際情報高等学校吹奏楽部 SIT Band ※兵庫県と北海道はＩＴネットワーク中継で現地からの出演 ④劇場基礎クラス 「これからの公共劇場を考えるまち×ひと×舞台芸術＝？？」 【ゲスト】 有門正太郎（俳優、演出家、有門正太郎プレゼンツ主宰）、岩崎正裕（劇作家、演出家、劇団太陽族主宰）、藤岡保（北九州市身体障害者福祉協会アートセンター長）	①33 ②12 ③59 ④10

		【進行】 北九州芸術劇場職員	
高校生〔的〕 シアター	北九州芸術劇場 大ホール、小劇場、創造工房 ［戯曲講座］ ６月～７月 全４回 ［夏期ゼミ］ ８月５日（月） ～７日（水） 全３回 ※８月６日は台風のため中止 ［モギテク］ ８月２４日（土） ～２５日（日） 全２回 ［ワークショップ］ ①山崎清介 演劇ワークショップ １１月９日（土） ～１０日（日） ２回 ②白神ももこ ダンスワークショップ １１月１６日（土） ～１７日（日） ２回 ［チケット優待］ 通年	北九州地域の高校生に演劇を体験（ワークショップ・鑑賞）してもらい、未来の演劇人や観客の創出、また高校演劇部のレベルアップを図った。 ①高校生のための演劇塾 （戯曲講座、夏期ゼミ、モギテク） ②高校生〔的〕ワークショップ ③高校生〔的〕チケット	［戯曲講座］ 7 ［夏期ゼミ］ 72 ［モギテク］ 30 ［ワークショップ］ ①23 ②10
地域のアートレパートリー創造事業	市内小学校、 ミクニワールドスタジアム ①学校ワークショップ 三郎丸小学校 ５月１３日（月） 葛原小学校 ２月１３日（木） 港ヶ丘小学校 ２月１４日（金） ②プロモーションビデオ撮影 ３月７日（土） ～８日（日） ※３月７日の市内小中学生を対象とした事前ワークショップと子どもから大人までが参加するプロモーションビデオ撮影は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	地域の企業や商店街等と共同したダンスプロジェクト等を実施し、芸術を通じた北九州市内の企業イメージの向上、ダンスを通じた地域課題の解決、コミュニケーションの活性化や健康づくりの促進を図る事業。 元年度は、ギラヴァンツ北九州との協働で創作した「ギラダンス」の更なる普及と定着のため、市内小学校でのワークショップを実施したほか、市内で活動するダンサー等によるプロモーションビデオ撮影を行った。	①180 ②　7
東筑紫学園高等学校演劇類型との連携事業	東筑紫学園高等学校 １２月１７日（火） １回	全国でも数少ない普通科演劇類型を有する東筑紫学園高等学校にて、劇場のノウハウを活用した演劇人育成に資する授業を行った。 【講師】 北九州芸術劇場職員	14

市民劇場文化サポーター育成事業	北九州芸術劇場会議室 ［ミーティング］ 毎月１回実施 全１２回	「劇場文化サポーター」を“劇場文化を応援する人たち”と位置づけ、市民がさまざまに劇場と関わりを結び、その活動がサポーター自身の生きがいや誇りに繋がること、さらに劇場や劇場文化への愛着の気持ちを育み、その輪を身近な人たちに広げていくことを目的として実施した。 ①劇場支援活動（情報発信、事業サポート等） ②劇場事業に関する勉強会等の実施（月１回のミーティング、記者会見参加等）	20

（３）公演事業

市民に、演劇やダンスを中心に多彩で良質な舞台芸術を提供した。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数(人)
パルコ・プロデュース 「世界は一人」	北九州芸術劇場 大ホール ４月１３日（土） ～１４日（日） ２公演	劇団ハイバイ主宰の岩井秀人が、豪華俳優陣で贈る音楽劇。“ある悲惨な男の物語”を、岩井ならではの視点で描いた。 【作・演出】岩井秀人 【音楽】前野健太 【出演】松尾スズキ、松たか子、瑛太ほか	2,407
世田谷パブリックシアター＋ＫＥＲＡ・ＭＡＰ＃００９ 「キネマと恋人」	北九州芸術劇場 中劇場 ６月２８日（金） ～３０日（日） ４公演	２０１６年に初演され、数々の賞を受賞した名作が待望の再演。北九州では初の上演となった。 【作・演出】 ケラリーノ・サンドロヴィッチ 【出演】妻夫木聡、緒川たまき、ともさかりえほか	2,119
ラッパ屋 第４５回公演 「２．８次元」	北九州芸術劇場 小劇場 ６月２９日（土） ～３０日（日） ３公演	普通にまじめに一所懸命に生きる男女の日常を描き、幅広い層から支持を集める人気劇団が３年ぶりの上演を行った。 【作・演出】鈴木聡	371
新国立劇場 2018/2019 シーズン ダンス 森山開次「ＮＩＮＪＡ」	北九州芸術劇場 中劇場 ７月１３日（土） １公演	ダンサー・森山開次による「大人も子どもも楽しめるダンス作品」を上演した。 【演出・振付・アート･ディレクション】森山開次	315
「劇トツ×２０分」 ２０１９	北九州芸術劇場 小劇場 ７月１４日（日） １公演	「劇トツ×２０分」２０１８の優勝劇団（劇団ヒロシ軍）が防衛戦として出場し、他４劇団を公募。計５劇団が短編の演劇作品（２０分、登場人物３人まで）を連続上演し、審査員と観客投票により優秀作品を決定した。（優勝：劇団言魂）	157

「めにみえない みみにしたい」	北九州芸術劇場 小劇場 ７月２０日（土） ～２１日（日） ３公演	マームとジプシーの藤田貴大が、4歳から大人まで一緒に楽しめる演劇作品として創作した話題作を上演した。 【作・演出】藤田貴大	231
大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ２０１９―海外編― 「カラフルパズル“Puzzle”」	北九州芸術劇場 創造工房 ７月２０日（土） ～２１日（日） ４公演	小さな子どもから大人まで楽しめる、選りすぐりの世界の作品を上演する人気シリーズ。今年度は0～3歳を対象に、言葉がわからなくても楽しめる、初めての観劇体験に最適な作品を上演した。 【出演】ダンセマ･ダンス･シアター（from リトアニア）	199
松尾スズキプロデュース東京成人演劇部 vol. 1 「命、ギガ長ス」	北九州芸術劇場 小劇場 ７月３１日（水） ～８月１日（木） ３公演	北九州市出身の松尾スズキによる作品。現代社会が内包するせつなさ、おかしさを、松尾ならではの切り口で描いた。 【作・演出】松尾スズキ 【出演】安藤玉恵、松尾スズキ	405
お気に召すまま	北九州芸術劇場 中劇場 ９月１４日（土） ～１５日（日） ２公演	名優たちが出演を切望する存在として、いま最も目が離せない演出家・熊林弘高が、自身初となるシェイクスピア作品を上演した。 【作】W. シェイクスピア 【翻訳】早船歌江子 【演出】熊林弘高 【出演】満島ひかり、坂口健太郎ほか	1,275
ダンスダイブ ウィーク	①夕暮れダンス「ちょいとごめんよ、じゃまするよ。～また逢う日まで」 ［ワークショップ］ 北九州芸術劇場 創造工房 大手町練習場 ７月～９月 全５回 ［本番］ Life is beer！11TAP （北九州市小倉北区） ９月１９日（木） リバーウォーク北九州 ミスティックコート ９月２２日（日） ②森山開次ダンスワークショップ 北九州芸術劇場 創造工房 ［小学生向け］ ９月１６日（月・祝） １回 ［一般向け］ ９月１６日（月・祝） １回	コンテンポラリーダンスを広く市民に普及するために、ワークショップ、街なかでのプロジェクトなど、多角的なプログラムを企画実施した。	①ワークショップ 延べ　79 来場者（観覧者） 延べ 260 ②小学生向け ワークショップ 25 一般向け ワークショップ 18

	③昭和館で、ダンスに魅せられて 小倉昭和館１号館 ［シネマカフェ］ ９月１５日（日） １回 ［夕暮れダンス関連企画「昭和館にじゃまするよ。」］ ９月１６日（月・祝） １回		③シネマカフェ 70 夕暮れダンス関連企画 40
公共ホール現代ダンス活性化事業	［ワークショップ］ 北九州芸術劇場 創造工房 ９月２８日（土） １回 ［公演］ 北尾亘ダンス公演 「UMU-うむ-」 北九州芸術劇場 小劇場 ９月２９日（日） １公演	(一財)地域創造による、現代ダンス活性化事業。ダンス作品の上演及び公募ワークショップを行った。 【講師・振付・出演】北尾亘	［ワークショップ］ 22 ［公演］ 90
ＮＯＤＡ・ＭＡＰ 第２３回公演 「『Ｑ』：Ａ Ｎｉｇｈｔ Ａｔ Ｔｈｅ Ｋａｂｕｋｉ」	北九州芸術劇場 大ホール １０月３１日（木） ～１１月４日（月・祝） ６公演	野田秀樹率いるＮＯＤＡ・ＭＡＰの新作公演を上演した。 【作・演出】野田秀樹 【出演】松たか子、上川隆也、広瀬すず、志尊淳ほか	7,284
田上パル 「Ｑ学」	［ワークショップ］ 北九州芸術劇場 創造工房 １１月１３日（水） １回 ［公演］ 北九州芸術劇場 小劇場 １１月１６日（土） ～１７日（日） ２公演	『北九州芸術工業地帯２０１５』の企画として東筑紫学園高等学校の生徒たちと田上豊により創作され、北九州にて初演された作品。全国での再演を経て、再び北九州で上演した。 【作・演出】田上豊	［ワークショップ］ 15 ［公演］ 206
ＫＡＡＴ神奈川芸術劇場プロデュース 「ドクター・ホフマンのサナトリウム～カフカ第４の長編～」	北九州芸術劇場 中劇場 １２月１４日（土） ～１５日（日） ３公演	日本演劇界を席巻し続けるケラリーノ・サンドロヴィッチ（ＫＥＲＡ）が、敬愛する作家フランツ・カフカの“幻の”長編に挑む話題作を上演した。 【作・演出】 ケラリーノ・サンドロヴィッチ 【出演】多部未華子、瀬戸康史ほか	1,694
山海塾「遥か彼方からの―ひびき」 リ・クリエーション	北九州芸術劇場 中劇場 ２月２３日（日・祝） １公演	２００２年に英国で最も権威のある舞台芸術賞であるローレンス・オリヴィエ賞最優秀新作ダンス作品賞を受賞し、これまでに世界２１ヶ国で上演された『ひびき』をリ･クリエーション作品として上演した。 【演出・振付・デザイン】天児牛大 【出演】山海塾	375

（4）提携・共催・協力事業

劇団やアーティスト、民間企業との事業連携等により、様々なジャンルの公演を実施した。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数(人)
【協力公演】 パルコ・プロデュース２０１９ 「母と惑星について、および自転する女たちの記録」	北九州芸術劇場中劇場 ４月６日（土） １公演	【作】蓬莱竜太 【演出】栗山民也 【出演】芳根京子、鈴木杏、田畑智子、キムラ緑子	596
ベッド＆メイキングス第６回公演 「こそぎ落としの明け暮れ」	北九州芸術劇場小劇場 ４月１３日（土） ～１４日（日） ３公演	東京を中心に活躍する福原充則率いる劇団が北九州初公演を行った。 【作・演出】福原充則	305
「劇トツ×２０分」 ２０１８優勝劇団 劇団ヒロシ軍 「カチカチ山」	北九州芸術劇場小劇場 ４月２０日（土） ～２１日（日） ３公演	長崎を拠点に活動する劇団が「劇トツ×２０分」２０１８での優勝を経て、小劇場での公演を実施した。 【演出・構成】永山智行（劇団こふく劇場）	208
有門正太郎プレゼンツ vol.６ アリプレ版ロミオとジュリエット 「僕は死にますん」	北九州芸術劇場小劇場 ５月１４日（火） ～１６日（木） ３公演	北九州発ユニットの公演。北九州芸術劇場では５年ぶりの上演を行った。 【作・演出】有門正太郎	361
ブルーエゴナク 「ＲＯＭＥＯ ＡＮＤ ＪＵＬＩＥＴ」	北九州芸術劇場小劇場 ６月１４日（金） ～１６日（日） ４公演	北九州を拠点に、全国へ活動を広げる若手劇団の公演を実施した。 【原案】Ｗ．シェイクスピア 【作・演出】穴迫信一	313
【協力公演】 劇団青春座 第２３４回公演 「おばちゃん Ｇｌｏｗｉｎｇ Ｕｐ！！」	北九州芸術劇場小劇場 ８月１０日（土） ～１１日（日・祝） ３公演	【作】源祥子 【演出】井生定巳	332
空晴（からっぱれ）第１８回公演 「明日の遠まわり」	北九州芸術劇場小劇場 ８月２４日（土） ～２５日（日） ２公演	大阪を拠点に活動する劇団の公演を実施した。 【作・演出・出演】岡部尚子	192
【協力公演】 TWENTIETH TRIANGLE TOUR vol.2 「カノトイハナサガモノラ」	北九州芸術劇場 大ホール ８月３０日（金） ～９月１日（日） ４公演	【脚本・演出】御徒町凧 【出演】坂本昌行、長野博、井ノ原快彦	4,732
パルコ・プロデュース２０１９ 「人形の家 Part２」	北九州芸術劇場中劇場 ９月６日（金） ～７日（土） ２公演	ヘンリク・イプセン「人形の家」のその後を描いた話題の海外新作を上演した。 【作】ルーカス・ナス 【演出】栗山民也 【出演】永作博美、山崎一、那須凜、梅沢昌代	602
飛ぶ劇場 Vol.41 「ハッピー、ラブリー、ポリティカル」	北九州芸術劇場小劇場 １１月２２日（金） ～２４日（日） ４公演	北九州を拠点に活動する人気劇団の公演を実施した。 【作・演出】泊篤志	371

劇団いちびり一家＋南河内万歳一座☆オールスターズ「デタラメカニズム」	北九州芸術劇場小劇場 １１月３０日（土） ～１２月１日（日） ２公演	「Ｒｅ：北九州の記憶」の構成・演出等で北九州でも馴染み深い、内藤裕敬率いる南河内万歳一座と、同じ関西を拠点に活動している若手劇団いちびり一家との合同公演を実施した。 【作・演出】内藤裕敬	117
【協力公演】 小林賢太郎演劇作品「うるう」	北九州芸術劇場中劇場 １月２５日（土） ～２６日（日） ２公演	【作・演出・出演】小林賢太郎	1,274
【協力公演】 ＰＡＲＣＯ ＰＲＯＤＵＣＥ ２０２０ 「ＦＯＲＴＵＮＥ」	北九州芸術劇場 大ホール ２月２７日（木） ～３月１日（日） ５公演 ※2 月 27 日のみ上演。28 日以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止。	【作】サイモン・スティーヴンス 【演出】ショーン・ホームズ 【出演】森田剛、吉岡里帆、田畑智子、根岸季衣、鶴見辰吾ほか	2/27 のみ 770
ＭＯＮＯ　第４７回公演「その鉄塔に男たちはいるという＋」	北九州芸術劇場小劇場 ３月７日（土） ～８日（日） ３公演	京都を拠点に活動し、結成３０周年を迎えた人気劇団の公演を実施した。 【作・演出】土田英生	202
彩の国シェイクスピア・シリーズ第３５弾「ヘンリー八世」	北九州芸術劇場 大ホール ３月１４日（土） ～１５日（日） ３公演 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止	１９９８年のスタート以来、芸術監督蜷川幸雄のもとシェイクスピア全３７戯曲の完全上演を目指す彩の国シェイクスピア・シリーズ。２代目芸術監督に就任した俳優・吉田鋼太郎が演出するシリーズ第３５弾の上演。 【作】Ｗ．シェイクスピア 【翻訳】松岡和子 【演出】吉田鋼太郎 【出演】阿部寛、吉田鋼太郎、金子大地ほか	中止

（５）北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担うプログラムを計画した。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数(人)
令和元年度 北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」	①モノレール公演 「きみをさがして」 北九州モノレール車内 ３月２８日（土） １公演 ②関連企画 「ぶらり♪まちなか劇さんぽ２０２０」 ３月２１日（土） ～２２日（日） ※①②とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	北九州市内を舞台に、劇場やホールに足を運ぶのとはまた一味違った「日常の生活」と「芸術」を繋ぐ『新たな回路』と出会う機会を設ける。元年度は北九州モノレール車内での公演のほか、地域で活動する５劇団によるまちなかでの公演や市民参加企画を計画した。	中止

（６）支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスを行い、市民の文化活動を支援したほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施した。

事　業　名	場所・時期・内容　等
大学演劇ラボ （再掲）	（２）学芸事業　参照
「劇トツ×２０分」２０１９ （再掲）	（３）公演事業　参照
ダンスダイブウィーク （再掲）	（３）公演事業　参照
令和元年度 北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」 （再掲）	（５）北九州舞台芸術フェスティバル　参照

（７）地域文化振興事業（受託事業）

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するため、公演事業を実施した。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数(人)
第４９回 北九州市ファミリー劇場 ―角笛シルエット劇場―	各市民会館 （戸畑・門司・若松） 黒崎ひびしんホール 北九州芸術劇場大ホール ５月２０日（月） ～２７日（月） ７公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供した。	4,339
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール ３月８日（日） ２公演 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公演中止	ユネスコの世界無形文化遺産に登録された日本の伝統芸能である「文楽」の公演。	中止

２　音楽文化の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する響ホールを中心として積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与した。

（１）響ホール事業

ア　創造事業

響ホールオリジナルの公演を制作し、実施するほか、地域との連携による新たな取組みを行った。

事業名	時期・場所等	内容等	入場者数（人）
響ホールフェスティヴァル２０１９	［地域訪問コンサート］ イオンモール八幡東 ６月８日（土） ６月９日（日） ６月１６日（日） 計６回 ［本公演・関連イベント］ 響ホール ６月２２日（土） ～２３日（日）	本市を活動拠点とする響ホール室内合奏団と響ホールの共同企画。２日間の公演及び関連イベントを実施した。 公演１日目はオーケストラの名曲やボディーパーカッションを取り入れた「０歳からのリズミックな音楽会」、２日目はバレエ音楽にスポットをあてた「３歳からの踊る音楽会」を開催。	［地域訪問］ 延べ 1,280 ［本公演・関連イベント］ １日目 公演　486 イベント 755 ２日目 公演　573 イベント 881 延べ 2,695
「フィガロの結婚」 ～フィアンセとＩＴ社長、その妻と少年～	響ホール ２月２日（日）	“気軽に”“身近に”オペラやオペレッタを楽しめるシリーズとして第４弾となる今作は、モーツァルトの傑作「フィガロの結婚」に演劇的要素を加え再構成し制作。 【構成・脚本・演出】 泊篤志 【指揮】角岳史 【管弦楽】響ホール室内合奏団 【歌手】大飼道雄ほか 【俳優】立石義江ほか	443

（参考）　響ホールフェスティヴァル　地域訪問コンサート

No.	実施日	開催場所	対象	派遣演奏家	参加人数（人）
1	6/8(土)①	イオンモール八幡東 ひまわりの広場	一般市民	響ﾎｰﾙﾌｪｽﾃｨｳﾞｧﾙ出演者 （木管五重奏）	190
2	6/8(土)②	イオンモール八幡東 ひまわりの広場	一般市民	響ﾎｰﾙﾌｪｽﾃｨｳﾞｧﾙ出演者 （木管五重奏）	160
3	6/9(日)①	イオンモール八幡東 ひまわりの広場	一般市民	響ﾎｰﾙﾌｪｽﾃｨｳﾞｧﾙ出演者 （金管五重奏）	210

4	6/9(日)②	イオンモール八幡東 ひまわりの広場	一般市民	響ﾎｰﾙﾌｪｽﾃｨｳﾞｧﾙ出演者 （金管五重奏）	220
5	6/16(日)①	イオンモール八幡東 ひまわりの広場	一般市民	響ﾎｰﾙﾌｪｽﾃｨｳﾞｧﾙ出演者 （ピアノ・トリオ）	260
6	6/16(日)②	イオンモール八幡東 ひまわりの広場	一般市民	響ﾎｰﾙﾌｪｽﾃｨｳﾞｧﾙ出演者 （ピアノ・トリオ）	240
計					1,280

イ　響ホール公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数（人）
リサイタル・シリーズ ～アーティスト・イン・レジデンス～ ①南紫音ヴァイオリン・リサイタル ②仲道郁代ピアノ・リサイタル ③金子三勇士ピアノ・リサイタル ④瀧村依里［ヴァイオリン］＆朴葵姫［ギター］デュオコンサート	［地域訪問コンサート］ 市民センター、小学校等 ①６月１８日（火） ～１９日（水） ③１月１５日（水） ～１７日（金） ④１２月１２日（木） ～１３日（金） ［アナリーゼワークショップ］ 響ホール ①７月６日（土） ②９月６日（金） ③１月１６日（木） ④２月２８日（金）※中止 ［本公演］ 響ホール ①７月７日（日） ②９月７日（土） ③２月８日（土） ④２月２９日（土）※中止	国内外で活動するアーティストによる２時間のコンサートを実施。 本公演のほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、アナリーゼワークショップ（楽曲解説）や地域訪問コンサートをあわせて実施した。 （④については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アナリーゼワークショップ及び本公演を中止）	［地域訪問］ ①269 ③350 ④188 ［ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ］ ①　35 ②　64 ③　82 ④中止 ［本公演］ ① 289 ② 400 ③ 513 ④中止
ワンコイン・コンサート ～アーティスト・イン・レジデンス～ ①津野田圭［ハープ］ ②カルテット・スピリタス［サクソフォン四重奏］ ③加藤文枝［チェロ］、小澤佳永［ピアノ］ ④前田啓太［打楽器］ ⑤入江一雄［ピアノ］ ⑥西本幸弘［ヴァイオリン］、平山麻美［ピアノ］	［地域訪問コンサート］ 市民センター、小学校等 ③８月２７日（火） ⑤１２月１８日（水） ⑥２月１７日（月） ［本公演］ 響ホール ①４月２６日（金） ②６月１１日（火） ③８月２８日（水） ④１０月２３日（水） ⑤１２月１９日（木） ⑥２月１８日（火）	平日（昼）の響ホールを活用し、トークを交えた短時間のワンコイン・コンサートを実施。新たな顧客層を開拓し、クラシック音楽の魅力を伝えるとともに、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのＰＲを行った。併せて、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指し、地域訪問コンサートを実施。	［地域訪問］ ③117 ⑤159 ⑥ 88 ［本公演］ ①315 ②355 ③280 ④255 ⑤362 ⑥312

生で聴く のだめカンタービレの音楽会　ピアノ版	［地域訪問コンサート］ 小学校 １０月２日（水） ～３日（木） ［本公演］ 響ホール １２月７日（土） ～８日（日）	茂木大輔監修、ピアノ・高橋多佳子により『のだめカンタービレ』の世界を、美しいピアノ演奏と楽しくわかりやすい楽曲解説、そしてスクリーンにリアルタイムで投影される漫画イラストと共に届ける公演を実施した。	［地域訪問］ 128 ［本公演］ １日目 468 ２日目 507
０才からの親子で楽しむクラシックコンサート	［地域訪問コンサート］ 小学校 １０月１６日（水） ～１７日（木） ［本公演］ 響ホール １２月２１日（土）	クリスマスシーズンに、０歳から親子で楽しめるクラシックコンサートを実施。子どもたちに生演奏の魅力を伝えるため、ピアニストの新居由佳梨が制作協力し、上演した。 また、小学校への地域訪問コンサートを実施した。	［地域訪問］ 177 ［本公演］ 522

（参考）　地域訪問コンサート

No.	実施日	開催場所	対象	派遣演奏家	参加人数（人）
1	6/18(火)	響ホール　練習室２	九州国際大学学生・教員	南紫音 三又瑛子	7
2	6/18(火)	日明市民センター	市民センター利用者	南紫音 三又瑛子	119
3	6/19(水)	青山市民センター	市民センター利用者	南紫音 三又瑛子	44
4	6/19(水)	永犬丸西市民センター	市民センター利用者	南紫音 三又瑛子	99
5	8/27(火)	熊西市民センター	市民センター利用者	加藤文枝 小澤佳永	45
6	8/27(火)	千代市民センター	市民センター利用者	加藤文枝 小澤佳永	72
7	10/2(水)	天籟寺小学校 （1・2年生）	児童・教員	高橋多佳子	53
8	10/3(木)	日明小学校 （2年生①）	児童・教員	高橋多佳子	49
9	10/3(木)	日明小学校 （2年生②）	児童・教員	高橋多佳子	26
10	10/16(水)	永犬丸小学校 （2年生①） (会場は永犬丸市民ｾﾝﾀｰ)	児童・教員	新居由佳梨	50
11	10/16(水)	永犬丸小学校 （2年生②） (会場は永犬丸市民ｾﾝﾀｰ)	児童・教員	新居由佳梨	44

12	10/17(木)	寿山小学校 （1年生）	児童・教員	新居由佳梨	43
13	10/17(木)	寿山小学校 （2年生）	児童・教員	新居由佳梨	40
14	12/12(木)	障がい福祉サービス事業所 BOCCHI	障がい福祉サービス事業所利用者	瀧村依里 小蔦寛二	27
15	12/12(木)	折尾西市民センター	市民センター利用者	瀧村依里 小蔦寛二	70
16	12/13(金)	中島小学校 （1年生、特別支援学級）	児童・教員	瀧村依里 小蔦寛二	48
17	12/13(金)	西小倉市民センター	市民センター利用者	瀧村依里 小蔦寛二	43
18	12/18(水)	永犬丸市民センター	市民センター利用者	入江一雄	84
19	12/18(水)	黒崎市民センター	市民センター利用者	入江一雄	75
20	1/15(水)	赤坂市民センター	市民センター利用者	金子三勇士	81
21	1/15(水)	引野市民センター	市民センター利用者	金子三勇士	80
22	1/16(木)	青山市民センター	市民センター利用者	金子三勇士	50
23	1/17(金)	長行小学校 （1年生）	児童・教員	金子三勇士	66
24	1/17(金)	長行小学校 （2年生）	児童・教員	金子三勇士	73
25	2/17(月)	二島小学校 （1年生）	児童・教員	西本幸弘 平山麻美	45
26	2/17(月)	二島小学校 （2年生）	児童・教員	西本幸弘 平山麻美	43
計					1,476

ウ　育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行った。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数（人）
北九州市少年少女合唱団育成事業	［練習］ 戸畑市民会館ほか 毎週土曜日１４時から ［第４５回定期演奏会］ 戸畑市民会館 大ホール １２月１５日（日）	合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図った。	定期演奏会 511
第４３回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館 大ホール ７月１４日（日）	市内及び近郊の少年少女合唱団１０団体１２組による合唱の祭典を実施した。	938
北九州市ジュニアオーケストラ育成事業	［練習］ 月３回 日曜日 ［第３７回定期演奏会］ 北九州芸術劇場 大ホール ８月２５日（日） ［第２３回スプリングコンサート］ 北九州芸術劇場 大ホール ４月５日（日）※中止	団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情操豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図った。 （スプリングコンサートについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	定期演奏会 610 スプリングコンサート 中止
中学校合唱講習会	響ホール ７月２４日（水） ～２５日（木）	北九州市中学校音楽教育研究会、福岡県合唱連盟と共催し、中学生のための合唱講習会を実施した。 【講師】日吉武（鹿児島大学教授）	680
東アジア文化都市 2020 北九州プレ事業 合唱組曲「北九州」演奏会	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール ２月２４日（月・振休） ※中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	中止
第４３回北九州市レディースコーラス・フェスティバル	響ホール ３月１４日（土） ※中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	中止
アーツスタッフ養成事業 ①基礎編 ～安全管理・バリアフリー～ ②クリエーション編	①基礎編～安全管理・バリアフリー～ １）レセプショニスト養成講座 響ホール ５月１１日（土） ～１２日（日）	①誰もが安心して公演を楽しめる環境づくりのため下記講座及び研修を実施した。 １）フロントスタッフの役割の理解を通して学ぶ「安全管理」についての講座。 【講師】星乃もと子	①基礎編 1) レセプショニスト 38 2) ホスピタリティ 17 ②クリエーション編 中止

	２）ホスピタリティ・カスタマーサポート研修～車いすユーザー編～ 響ホール ５月２１日（火） ②クリエーション編 あなたの展覧会～ダンス×音楽×演劇ワークショップ体験～ ３月２０日（金・祝） ～２２日（日） ※中止	２）多様なサポートが必要なお客様への理解と対応方法を学ぶための研修（車いすユーザー編）。 【講師】生き方のデザイン研究所 障害当事者・支援者 ②ダンス・演劇・音楽それぞれのワークショップ、他のジャンルと掛け合わせるとどういうことになるのか、などの実例を踏まえた講座。 【講師】セレノグラフィカ（ダンス）、中川賢一（ピアノ）、岩崎正裕（演出家） （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	
青少年のための ヴァイオリンコンサート	響ホール １２月５日（木） （湯川中・篠崎中・黒崎中・石峯中が参加）	（公財）日本音楽財団との共同主催により、中学生に対して質の高い音楽を提供し、音楽文化の定着を図った。 【出演】大谷康子（ヴァイオリン）、佐藤卓史（ピアノ）	555
東京藝術大学 「早期教育プロジェクト ２０１９in 北九州」	響ホール １２月１日（日）	東京藝術大学学長澤和樹氏による小・中学生を対象としたヴァイオリン公開レッスン及び東京藝大生によるランチタイム・コンサートを実施した。	94
ハープ研究会	響ホール 練習：月２回 ×２グループ ２7回	ハープに興味を持つ市民に対し、ハープ演奏を学ぶ機会を提供することを目的として実施した。	224
チェンバロ教室	響ホール 練習：月２回 ２3回	響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会を市民に提供することを目的として実施した。	107

エ　支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、地元演奏家の公演企画等により、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図った。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数（人）
第４３回北九州少年少女合唱祭 （再掲）	戸畑市民会館 大ホール ７月１４日（日）	ウ　育成事業　参照	938
第４３回北九州市レディースコーラス・フェスティバル （再掲）	響ホール ３月14日（土） ※中止	（コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	中止

響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス（９人乗り）を運行し、響ホールへのアクセスの利便性向上を図った。（主催者一部負担３，０００円）	17回/年

オ　連携事業

様々な団体等と交流・連携・協働しながら、音楽を中心とした芸術文化の振興や芸術文化の力を活かしたまちづくりに取り組んだ。

事　業　名	場所・時期等	内　容　等	入場者数（人）
ＹＡＨＡＴＡ　ＭＵＳＩＣ ＰＲＯＪＥＣＴ	①やはたアートフォレスト２０１９～パレットの樹～ １）「知らない世界、だから面白い！翻訳本の楽しみ方」 八幡図書館 ９月２９日（日） ２）「食の図書館」とフレンチ＆音楽の夕べ 千草ホテル ９月２９日（日） ３）朗読コンサート「きらめく音楽と言葉のしらべ」 響ホールリハーサル室 １１月９日（土） ４）八万湯プロジェクト（現代アート作品展示） 響ホールほか １０月７日（月） ～１０月２７日（日） ②「すくすくコンサート」（大学生連携企画） 響ホールリハーサル室 １月１８日（土）	地域と「つながる」「つくる」「考える」をキーワードに連携事業を実施。 ①「誰もがみんなアーティスト」をテーマに企業や施設、店舗や学校等と共同参画にてイベントを実施。 １）暮らしを支える施設である図書館でのコンサートを連携して実施。 ２）クラシック音楽に親しんでもらうため、ホテル・図書館と連携し、コンサートを実施。 ３）八幡図書館との連携により、朗読コンサートを実施。 ４）八万湯プロジェクトと連携し、現代アート作品を展示。 ②北九州市立大学に通う学生有志による地域支援団体と連携し、これからママ・パパになる方や、子育て中のみなさんを応援するコンサートを実施。	①アートフォレスト 1)翻訳本の楽しみ方 35 2)音楽の夕べ 75 3)朗読コンサート 84 4)八万湯ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ参加ｱｰﾃｨｽﾄ 1 ②すくすくコンサート 53
避難訓練コンサート	響ホール ８月３１日（土）	八幡東消防署の協力を得て、コンサート実施中に火災等が発生することを想定した訓練を実施。観客として市民からの参加を募り、避難誘導も行った。 【出演】北九州市消防音楽隊＆カラーガード隊	202

（２）北九州国際音楽祭事業

ア　有料プログラム

３２回目の開催となる２０１９北九州国際音楽祭を５０日間にわたって開催した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数（人）
ダン・タイ・ソン[ピアノ]	響ホール １０月６日（日）	１９８０年にアジア出身の演奏家として初めてショパン国際ピアノコンクールで優勝し、今なお第一線で活躍する世界的ピアニストによるリサイタルを実施した。	597
森麻季[ソプラノ] 鈴木優人[チェンバロ＆ピアノ]	響ホール １０月１２日（土）	来場者アンケートで聴きたいアーティストとして人気の高い森麻季と、２０１７音楽祭にも登場しマルチな才能で注目を集める鈴木優人による、バロックから現代まで幅広く楽しめるデュオリサイタルを開催。	415
サロン・コンサート 谷口英治[ジャズ・クラリネット]　ジャズトリオ 有田純弘[ギター] 丹羽肇[ベース]	西日本工業倶楽部 １０月１８日（金）	本市出身で、国内外で活躍するジャズ･クラリネット奏者の谷口英治によるジャズトリオのコンサートを実施し、音楽祭のジャンルの多様化を図った。	96
マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ コンサートマスター／篠崎史紀	響ホール １０月２７日（日）	本市出身でＮＨＫ交響楽団第１コンサートマスターの篠崎史紀を中心とした、国内主要オーケストラのトップ奏者であるマイスター組と、新進気鋭の若手奏者であるライジング組により結成される本音楽祭オリジナルオーケストラ公演を実施した。	524
米元響子[ヴァイオリン] 上村文乃[チェロ] 菊池洋子[ピアノ] 中恵菜[ヴィオラ] 白井菜々子[コントラバス]	響ホール １１月２日（土）	室内楽に適した響ホールの特性を生かし、２０１６北九州国際音楽祭に出演したピアノ・トリオを核に新たにピアノ五重奏に取り組み、編成による違いを楽しめるコンサートを開催した。	380
サロン・コンサート ＬＥＯ［箏］	西日本工業倶楽部 １１月８日（金）	箏の注目の若手奏者であるＬＥＯによるサロン・コンサート。音楽祭のジャンルの広がりや、新たなファン層の獲得を目指し実施した。	95
マレク・ヤノフスキ[指揮] ケルン放送交響楽団 チョ・ソンジン[ピアノ]	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール １１月２４日（日）	ドイツ音楽の巨匠マレク･ヤノフスキ指揮による、１９４７年発足の日本でも人気の高いオーケストラのコンサート。ソリストにショパン国際コンクール優勝で注目を集めるチョ･ソンジンを迎えて開催した。	1,270

イ　教育プログラム

未来を担う子どもたちに、音楽の素晴らしさを体験してもらい、情操豊かな人間形成の一助となることを目的に実施した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数（人）
中学生の鑑賞教室１・２ ダン・タイ・ソン[ピアノ]	響ホール １０月８日（火）	「ピアノの詩人・ショパンを味わう」をテーマに、ショパンが曲に込めた想いを感じ取りながら、より深く楽曲を捉え鑑賞することを目指して実施した。 【ナビゲーター】堀朋平 《教育委員会受託事業》	902
中学生の鑑賞教室３・４ 森麻季[ソプラノ] 鈴木優人[チェンバロ＆ピアノ]	響ホール １０月１１日（金）	「時代により変化する音楽」をテーマに、響ホール所蔵のチェンバロとピアノを使用し、歌詞、技術の進歩や鑑賞スタイルの変化による楽器の変遷などをたどりながら、より深く鑑賞することを目指して実施した。 《教育委員会受託事業》	765
小学生の鑑賞教室 マイスター・アールト×ライジングスター　弦楽アンサンブル	北九州市立高蔵小学校 １０月２９日（火）	当音楽祭オリジナルオーケストラのメンバーによる弦楽四重奏を編成し、小学校での訪問コンサートを実施した。	253
幼稚園の鑑賞教室 米元響子[ヴァイオリン] 上村文乃[チェロ] 菊池洋子[ピアノ]	響ホール １１月１日（金）	より身近に本物の音楽を体感してもらうため、ホールに園児を迎え、ステージ上で鑑賞する形式でコンサートを実施した。	112

ウ　特別プログラム

広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、公演事業では十分に行き届かない、普及、啓発、振興、教育などを担うプログラムとして展開した。

事業名	場所・時期等	内容等	入場者数（人）
子どものための夏休み音楽祭 サマー・ミュージック・スクール	響ホール ８月３日（土） ８月１０日（土） ８月２４日（土）	楽器未経験の子どもが参加して楽しめるように、全３回の体験型事業を開催。回ごとに、①打楽器の制作・演奏、②弦楽器演奏、③ホール所蔵のハープ演奏の異なる内容で実施し、広く音楽に触れる機会を提供した。	28
子どものための夏休み音楽祭 ヴァイオリンが上手くなるひみつ	響ホール ８月１０日（土）	本市出身のＮＨＫ交響楽団第１コンサートマスター篠崎史紀による、ヴァイオリン愛好者を対象としたレッスンを行い、その様子を一般に公開した。	21

子どものための夏休み音楽祭 まるっとEnjoy！響ホールで夏休み	響ホール ８月１１日（日・祝）	「モーツァルト VS ベートーヴェン」をテーマに、本格的なコンサート鑑賞のほか、楽器体験やバックステージツアーなどを実施。３歳以上対象で入場無料とし、響ホールと音楽祭を身近に感じてもらうことを目的に開催した。	630
ムジカ・カフェ ～クラシック音楽を語らう会～　音楽教師編	北九州文学サロン ８月８日（木）	本市出身のＮＨＫ交響楽団第１コンサートマスター篠崎史紀をゲストに迎え、音楽祭ミュージックアドヴァイザーの広瀬大介が進行役を務め、クラシック音楽や音楽祭などについて、参加者を交えて自由に語り合う企画。市立学校の音楽科教諭等を対象に実施した。	27
ムジカ・カフェ ～クラシック音楽を語らう会～　一般公募編	三木屋カフェ ８月９日（金）	本市出身のＮＨＫ交響楽団第１コンサートマスター篠崎史紀をゲストに迎え、音楽祭ミュージックアドヴァイザーの広瀬大介が進行役を務め、クラシック音楽や音楽祭などについて、参加者を交えて自由に語り合う企画。一般公募による参加者を対象に実施した。	26
楽しみかた聴きどころ講座	西日本工業大学 ９月１４日（土）	今年のラインナップのほか、プログラムの一つであるシューベルトの「ます」をテーマに、より深く音楽祭を楽しめるよう公募による参加者を対象にレクチャーを行った。	36
プレ・ステージ　コンサート	響ホール １０月２７日（日） 開演前	篠崎史紀がＭＣを務め、開演前に、オーケストラメンバーによる金管五重奏や弦楽八重奏などのプレ・コンサートを行った。	－ （※開演前開催、出入り自由のため人数不明）
施設訪問コンサート マイスター・アールト×ライジングスター　弦楽アンサンブル	小倉リハビリテーション病院・伸寿苑 １０月２９日（火）	当音楽祭オリジナルオーケストラのメンバーによる弦楽四重奏を編成し、訪問コンサートを行った。	100
オーケストラレクチャー＆リハーサル見学	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール １１月２４日（日） 開場前	オーケストラのコンサートをより深く楽しく鑑賞するため、事前申込者を対象に開場前にレクチャーとリハーサル見学を行った。 【ナビゲーター】広瀬大介	42

スタンプラリー	有料プログラム会場 音楽祭期間中	音楽祭期間中、3 つ以上の有料コンサートのスタンプを集めた方に、抽選で出演者のサイン色紙などのプレゼントを行った。	（申込 40 件）

エ　支援事業

広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的として、市民企画事業実施に取り組む団体への支援を行った。

事業名		場所・時期等	内容等	入場者数（人）
湧き上がる音楽祭 in 北九州	独創企画 演奏会	北九州芸術劇場小劇場 ７月２６日（金）	地元音楽界のプロデュース力を育成するためオリジナル企画を公募。北九州シティオペラによる公演を行った。	148
	コンチェルト 演奏会	北九州芸術劇場大ホール ７月２７日（土）	若い演奏者へのコンチェルト演奏の機会提供とともに、山下一史指揮による北九州グランフィルハーモニー管弦楽団の公演を実施した。	550
	オーケストラ 演奏会	戸畑市民会館大ホール ８月４日（日）	オーケストラに広く演奏機会を提供することを目的に、精華女子高等学校吹奏楽部によるクラシック演奏とマーチングからなる公演を行った。	778
	室内楽演奏会	戸畑市民会館中ホール ８月１１日（土）	優れた地元演奏家への演奏機会提供を目的に、ピアノソロやピアノデュオ、マリンバ等によるアンサンブルのコンサートを実施した。	177
街かどコンサート	公募による市民参加コンサート	ウェルとばた２階交流広場 ９月２２日（日）	プロ・アマ問わず出演者を公募し、共にステージを分かち合い、道行く人も含めて音楽の楽しさを共有し理解を深め合う“場”の提供を目的に実施した。	710
マラソン・コンサート	公募による市民参加コンサート	響ホール ９月２９日（日）	プロ・アマ問わず多くの演奏家が音楽祭の主会場である響ホールのステージに立つことで、音楽祭をより身近に感じてもらうとともに、音楽祭の発展の一助となることを目的に実施した。	520

オ　協賛事業

９～１２月に北九州市内のいずれかの施設で実施されるクラシック音楽等のコンサートを対象に、本市におけるクラシック音楽文化等を盛り上げるため「２０１９北九州国際音楽祭 協賛事業」の冠称を使用する事業の公募を実施した。

事業名	場所・時期等	入場者数（人）
北九州交響楽団　第１２２回定期演奏会	北九州芸術劇場大ホール １０月６日（日）	815
フェッロ・マンドリーノ北九州 （旧：新日鐵住金マンドリン合奏団） 第７７回定期演奏会	響ホール １０月１３日（日）	510
北九州演奏家グループ「虹の会」 第５７回定期演奏会	響ホール １１月１７日（日）	300

３　芸術文化情報の収集及び提供事業

市内の芸術文化活動の周知や公演情報の提供を図った。

事　業　名	時期・場所等	内　容　等	来場者数
文化情報誌「CulCul・かるかる」の発行	毎月１日発行／ 奇数月号 冊子 10,000 部・PDF 偶数月号 PDF	文化芸術・社会教育施設にまつわる記事情報と文化施設の催事案内を掲載。	
北九州芸術劇場＆ 響ホール情報誌 「情報誌Ｑ」の発行	年3回発行 ／80,000部	北九州芸術劇場・響ホールの事業や舞台芸術の可能性に関連する記事を掲載。	
芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、アートライブラリー（アート＆エコスペースを含む）、市民ギャラリー、ホームページ等で公演の情報提供等を行った。 ※プレイガイド・インフォメーションとアートライブラリーは令和２年２月に統合。	25,268
北九州芸術劇場＆ 響ホール チケットクラブＱ 会員制度	－	チケットの販売促進等のための会員制度。 平成２７年度より芸術劇場と響ホールの会員組織を統合して発足した。 特典：チケットの先行予約、ポイント積立による割引、公演情報の提供等 会員数：3,139人（令和2年3月31日現在）	

《 Ⅱ　芸術文化施設の管理 》

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として運営及び管理を実施した。

施　設　名	令和元年度		平成３０年度		増減比較	
	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員	利用件数	利用人員
北九州芸術劇場	1,633	263,175	1,477	255,111	156	8,064
響　ホ　ー　ル	1,956	50,714	2,224	58,043	△268	△7,329
大手町練習場	7,987	91,907	7,690	93,570	297	△1,663
計	11,576	405,796	11,391	406,724	185	△928

＊北九州芸術劇場は修繕工事により、平成30年12月3日～平成31年2月28日（大ホール、中劇場、小劇場の全館）、及び令和元年12月2日～令和2年1月31日（小劇場）を閉館とした。

《 Ⅲ　市有施設の維持管理 》

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行った。

施　設　名	主　要　施　設	期　間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、 アジア低炭素化センター、駐車場	平成３1年４月１日から 令和６年３月 31日まで （指定管理）

《 Ⅳ　埋蔵文化財の発掘調査研究 》

北九州市などから委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存、普及活動等を行った。

１　埋蔵文化財の発掘調査及び整理事業等

No.	事業名	遺跡名	区分		遺跡の概要
1	折尾土地区画整理事業	菅原神社横穴群	発掘		横穴墓
2	西小倉なかよし学童クラブ新築工事	小倉城三ノ丸跡第１１地点		整理	城下町跡
3	９号線（高野工区）街路事業	祇園町遺跡第１２地点		整理	集落跡
4	小倉城天守台跡石垣測量業務	小倉城天守台跡		整理	城跡
5	折尾総合整備事業	菅原神社遺跡９－１、 ９－２、９－３区		整理	集落跡
6	令和元年度庁舎建て替え	金田遺跡第３地点	発掘		城下町跡
7	令和元年度庁舎建て替え	金田遺跡第３地点		整理	城下町跡

8	小倉城大手門前施設建築事業	大手ノ勢溜り跡第２地点		整理	城跡
9	中貫貫弥生が丘１号線改築事業	山田遺跡５区		整理	集落跡
10	（仮称）平和資料館周辺整備事業	小倉城御用屋敷跡第２地点		整理	城下町跡
11	徳力けやき公園整備	徳力遺跡第２１地点	発掘		集落跡
12	折尾土地区画整理事業（東側・鉄道跡地地区）	左近田遺跡		整理	集落跡
13	アパート建築（則松六丁目）	則松遺跡		整理	集落跡
14	宅地開発（東二島二丁目）	中村遺跡第３地点		整理	集落跡
15	仮称）ロイヤル城野新築工事	砥石山遺跡第５地点		整理	集落跡
16	出光興産㈱大手町 SS リニューアル工事	木町遺跡第２地点		整理	集落跡
17	宅地造成（津田三丁目）	津田神社遺跡第３地点	発掘		集落跡
18	宅地造成（下貫四丁目）	貫川遺跡１３	発掘		集落跡
19	門司区中二十町新築工事（Ｃ、Ｄ号地）	大里八反田遺跡第４地点	発掘		集落跡
20	宅地開発（湯川新町二丁目）	中条遺跡第３地点	発掘		集落跡
21	宅地造成（八幡西区永犬丸二丁目）	宮ノ谷石棺群	発掘		集落跡
	計		８件	１３件	

２　報告書等の刊行

（１）埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行

・小倉城御用屋敷跡第２地点など　全１０冊（１０事業）

（２）埋蔵文化財に関する調査・研究

・ 年報、研究紀要　　各１冊

３　埋蔵文化財に関する普及活動

（１）遺跡発掘報告会

令和元年度に行った発掘調査のうち話題性の高い３遺跡についてのほか、特別報告を加えて市民対象に報告会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス対策のため中止した。

（２）埋蔵文化財速報展

最近の調査で出土した文化財を展示する埋蔵文化財速報展を下記のとおり実施した。

第１回	「街道と瓦生産－金田遺跡第３地点の調査から－」
第２回	「洞海湾最奥部の集落と塩づくり－八幡西区左近田遺跡の調査から－」
第３回	「木町遺跡に暮らした人々－小倉北区木町遺跡第２地点の調査から－」

（３）市民向け及び小・中学生向け考古学講座

市民及び小・中学生を対象にした考古学講座を実施した。全１３回を予定していたが、それぞれ最終回は新型コロナウイルス対策のため中止し計１１回となった。

参加者延べ３３６名。

（４）現地説明会

金田遺跡第３地点で、発見した遺構や出土した遺物を現地で学芸員が市民に解説。

参加者７４名。

４　埋蔵文化財センターの施設管理

埋蔵文化財の発掘調査や出土品その他の考古資料の整理、収蔵及び研究等を行う埋蔵文化財センターの施設管理を受託し、維持管理を行った。年間総入館者数は３，８１２名。（新型コロナウイルス対策のため、令和２年２月２８日から休館）

《 Ⅴ　地域文化の情報提供 》

１　市民生活・文化の振興事業

北九州市芸術文化情報誌『CulCul・かるかる』の刊行

事　業　名	時期等	内　容　等
文化情報誌 『CulCul・かるかる』 の刊行	毎月１日発行／ 奇数月号 冊子 10,000 部･PDF 偶数月号 PDF	演劇・音楽・文芸・美術・漫画・自然史・歴史・文化財などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。フリーペーパーだけでなく、ホームページでも情報発信した。

２　文化施設の情報提供事業（ホームページ）

『CulCul・かるかる』に掲載の記事と文化施設の催事情報「イベントカレンダー」を配信するメディアサイト『CulCul･かるかる』(http://kitakyushu-culcul.jp/) の管理を行った。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末などさまざまなデジタルデバイスに対応し、各機関からの情報や、取材によるコンテンツの充実に努め、多様な催事情報を速やかに提供した。

３　書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、各種の書籍を市内書店及び当財団ホームページで販売した。

取扱い書籍は、次のとおりである。

「北九州市史」（全１０巻）、「北九州むかしばなし」、「きたきゅう発掘！考古学ノート」、「続海峡の風」、「火野葦平とゆかりの人びと」、「北九州市の野鳥たち」、「川が変えたまち」、「門司港レトロ物語」、「ひろば北九州バックナンバー」

■　理事会の開催状況

第１回（令和元年５月２９日）

議案第１号　　平成３０年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の事業報告について

議案第２号　　平成３０年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の決算について

議案第３号　　公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の特定費用準備資金の設定について

議案第４号　　令和元年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団定時評議員会の開催について

議案第５号　　令和元年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団定時評議員会の議題について

第２回（令和元年６月２０日）

議案第６号　　令和元年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団定時評議員会における議題の修正について

第３回（令和元年６月２４日）

議案第７号　　理事長の選定について

議案第８号　　専務理事の選定について

議案第９号　　非常勤役員（理事長）報酬額について

第４回（令和２年３月２４日）

議案第１０号　令和２年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の事業計画について

議案第１１号　令和２年度公益財団法人北九州市芸術文化振興財団の予算について

議案第１２号　令和２年度常勤役員（専務理事）報酬額について

附属明細書

事業報告を補足する重要な事項はない。